



応援します
市民力。

市内で活躍する元気な団体・サークル・同好会を紹介するコーナーです。
活動内容やイベント情報など、編集部までお知らせください。

◆お問い合わせ先：yamayuri802@r8. ucom. ne. jp
090-2625-4330 (田口)

八王子やまゆり咲かせ隊

見たい
植えたい
咲かせたい

「八王子やまゆり咲かせ隊」は、2005年5月に市職員を中心とした20名で結成されました。「市の花、やまゆりを咲かせたい」という素朴な思いからスタートし、山梨県大月市など、同じように市の花としてやまゆりを盛んに育ててきた先達に話を伺うなどして、徐々にその生態、育て方を学んでいきました。「やまゆりは、種を植えてから花が咲くまで5年はかかります。消毒と陽射しに気を配らねばならない、育て方の難しい植物なんです」と語るのは、事務局長を務める田口秀夫さん。

活動の主軸は市民へやまゆりの種を無償提供することです。すでにやまゆりを栽培していた高尾登山電鉄や夕やけ小やけふれあいの里、市内の農園などからもらった種を発芽させて市民に配ったり、メンバーの自宅のプランターで生育させた球根を市内各所に植えるなどして、市内にやまゆりの花を広げてきました。ただ残念ながら、発足から10年経つころにはイノシシやサルが球根を食い荒らすようになってしまい、いまは大々的にやまゆりを植える取り組みは

植物なんですね」と語るのは、事務局長を務める田口秀夫さん。

植物なんですね」と語るのは、事務

植物なんですね」と語るのは、事務

植物なんですね」と語るのは、事務

植物なんですね」と語るのは、事務

植物なんですね」と語るのは、事務



▲戸吹清掃工場にて

はちとぴサポーターの会 会計報告

111,370円 (2024年12月11日)
～2025年12月10日)

心よりお礼申し上げます。
引き続きよろしくお願ひします。



はちとぴ32号にて「はちとぴサポーターの会」を立ち上げ、読者の皆さんに広くご寄付をお願いしました。その結果、非常に多くの方々より温かいご支援を賜りました。厚く御礼申し上げますとともに、上記の通り会計報告いたします。賜りました淨財をもとに今後とも魅力的な誌面づくりに努めます。

振込先 【はちとぴサポーターの会】

ゆうちょ銀行 口座番号 00110-4-0514170

※他の金融機関からの振り込みはできませんので、ご注意ください

一口 1,000円
随时受付

※年1回、誌上にて会計
報告します
※収集した個人情報は無
断使用いたしません

はちとぴサポーター特典！
ご寄付いただいた方には本誌を自宅まで郵送します

お問い合わせ先

搖籃社 ☎042-620-2615

「八王子」 という地名のあゆみ



▲京王高尾線・高尾駅より八王子城跡を望む

「八王子」とは、あまねくすあおみみすわのあおみの尊の誓約のときに現れた五男三女神や、牛頭天王の八人の王子（兒童神）のことである。それを祀る神社のことなどもい、日吉大社の山王七社の第四に八王子神社がある。また、同社には神体山の八王子山（牛尾山）がある。

滋賀県大津市の日吉大社から生じた山王（靈山を守る神）信仰は、最澄が比叡山に延摩寺を開いてから天台宗の守護神となり、神仏習合で「山王権現（日吉・日枝神社・八王子権現など）」と呼ばれ、一般には山王さま」といふ。その信仰が各地に伝えられた。

「八王子」という地名は、戦国時代の永禄12年（1569）、北条氏の三代氏康が家臣に「八王子筋」に移動するよう命じた文書にあらわれる。まだ北条氏照は滝山城主で、八王子城築城以前のことである。

「ジノジ」とい、古くに八王子権現を山に祀り、その神社の別当寺を「神護寺（慈根寺）」と呼んだことによる。神護寺とは神仏習合で神社に付属した寺院のこと。「八王子」とは、山王信仰の八王子権現が祀られて生まれた地名である。北条氏照が滝山城から城をこの「八王子」に移して名が普及する。天正18年（1590）に八王子城は落城し、その後に武田家遺臣（八王子千人同心の前身）らが入り、落城後のまちの再興が試みられる。数年後には横山村（現在の八王子中心部）にまちが移転し、地名も移り「八王子」といい、かつての八王子城下は元八王子と呼ばれるようになった。

移転先の八王子宿（通称）は、「横山」と呼ばれ、代官が集住する役人のまちであった。元禄年間には代官衆は江戸に去り、市や甲州街道の伝馬宿を軸にした商人のまちとなる。江戸幕府の定めた八王子宿の正式名称は「横山村」であったが、一般には広く「八王子」と呼ばれた。八王子城落城後からまちづくりにかかわった八王子千人同心（千人町を中心に住む）が、通称の「八王子」の名を支持して明治に至り、明治初年に「八王子」の名はようやく公的な名となり、現在の八王子市につながる。

こうしてみると、日吉大社の八王子山に似た八王子城跡の本丸跡がある山は、八王子市の歴史的シンボルと思う。

八王子市の木・花・鳥に出合う

八王子自然探訪 14

八王子市の木はイチョウ、花はヤマユリ、鳥はオオルリであるが、このうち市民が身近に、かつ1年中接することができるものはイチョウだけである。最も有名なイチョウは、甲州街道にある大正天皇の御陵造営を記念して植えられた並木である。黄葉の時期には、毎年いちょう祭りが開催される。この祭り時の混雑を避けて鑑賞したいのであれば、祭りの前後の日に歩道をゆっくり歩くことを推奨する。特に並木町の歩道橋からの眺めは抜群だ。花言葉が「長寿」であるイチョウの寿命はとても長く、何百年、数千年ともいわれ、生命力が強い樹木である。市の天然記念物になつている大塚神明社（多摩モノレールの「松が谷駅」付近）の巨木イチョウは、樹齢約500年と推定されている。変わったイチョウが兵衛2丁目の熊野神社にある。ラッパイチヨウといつて、扇形に開くはずの葉であるが、何故か漏斗状になつていて葉が見つかった。この神社は横浜線八王子みなみ野駅東口から兵衛川沿いの道を500mほど西に向かって最初の信号付近にある。

ところ山寺（無住の古寺）の山門周辺の斜面にはボランティアの方々が保護活動をしている所があり、山登りをしなくてよい山で見事なヤマユリに正面である。

オオルリはツバメと同じように春から秋までしかいない渡り鳥で、かつ人里離れた川の上流部で子育てるので、ほとんどの市民は気がつかない鳥である。このため、八王子・日野カワセミ会では市民を対象に毎年5月の第2日曜日に旧甲州街道の小仏付近の下沢林道で「オオルリを探す会」を実施している。オオルリのオスは姿がきれいで鳴き声もすばらしいので、カワセミ会が発足した40年前には市内でも飼育されていたオオルリのさえずりがあちこちから聞こえてきた。そこでカワセミ会ではオオルリの密猟防止のためにパトロールをしていた。今では野鳥を餌う人はいないと思われるが、野鳥を許可なく餌うことは犯罪であることを認識してほしい。



▲ヤマユリ



▲ヤマユリ

私の本はこうして生まれた 其の六十二

『三宅島の風と光と水——カノンのゆらぎ』 穴原甲一郎 著

八王子から遠く離れた三宅島。この島に魅せられ、半世紀近く暮らしてきた著者が、このほど1冊の画集を完成させました。収められているのは、風光明媚な三宅島の様子がわかる絵であり、島のもつと深いところにある魅力までも紡いだ誌的な言葉です。それはただの解説文ではありません。絵を通して、まるで音楽のような響きも感じられる画集でもあり、詩集もあるような不思議な1冊。ページをめくると、三宅島の雰囲気が如実に感じられることがあります。



私は三宅島に住んで44年になります。その間2度の噴火、全島避難も経験しました。島での長い暮らしの中で、5人の子どもと8人の孫に恵まれ、家庭や島の活動などに日々追われながらも幸せな毎日を過ごしています。

そんな中、空いた時間を見つけては、細々と絵を描き続けてきました。続けてこられた要因は何といつても家族の理解と支えがあるからなのですが、もう1つ、頭の片隅に

ちょっとだけ灯っている何かを表現したいという思いが細く長く、風に揺れながらも絶えず続いてきたからなのかとも思います。

毎日の生活の中で、島の暮らしと共ににある光や風のゆらぎにふと触れるたびに、心の奥にある音楽のような何かが震え、その余韻をキヤンバスに写そうとすます。

そんな中、空いた時間を見つけては、細々と絵を描き続けてきました。続けてこられた要因は何といつても家族の理解と支えがあるからなのですが、もう1つ、頭の片隅に

ちょっとだけ灯っている何かを表現したいという思いが細く長く、風に揺れながらも絶えず続いてきたからなのかとも思います。

本書は2025年の秋に70歳の節目として開催した作品展に合わせて作成した冊子です。独りよがりの拙い文でも理論(superstring)とい

レットはそんな“ゆらぎの音符”と、それを奏でるに至つた背景を少しずつ書き添えたものになります。未熟な

がらも、今の私にできる精一杯の「カノンのゆらぎ」を表現してみました。

どうぞ気に入つたページがあれば、今の私にできる精一杯の「カノンのゆらぎ」を表現してみます。

どうぞ気に入つたページがあつたら、気ままに眺めてみていただきたいと思います。この一步がまた次の10年のゆらぎとなつて続いていくことを願つて。

世界が音楽でできており、それぞの人生もまためいめいが奏でる音楽であるとしたがままに描かれた、にじんら、私の絵は人生の五線譜の余白に描き込まれた、にじんでゆらいだ音符のようなもの

三宅島の風と光と水

カノンのゆらぎ

穴原甲一郎

2025年10月発行

定価 1,650円

ISBN 978-4-908750-00-0

著者

穴原甲一郎

出版社

八王子市立図書館

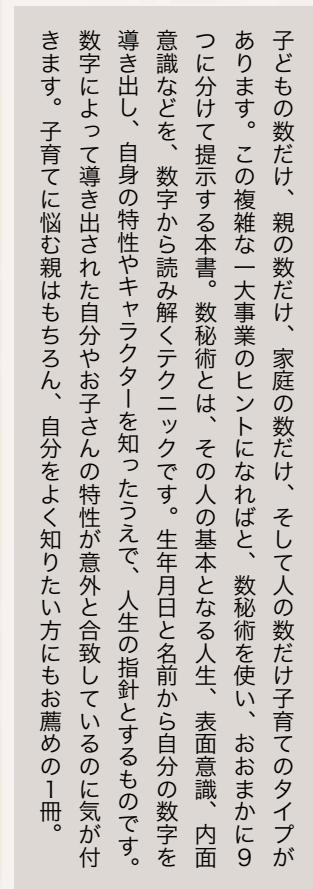
編集部

八王子市立図書館

販売部

BOOK REVIEW —八王子の自費出版本を紹介—

※このコーナーで紹介する自費出版本を募集しています。紹介してほしい本がありましたら、ご一報を。



子どもの数だけ、親の数だけ、家庭の数だけ、そして人の数だけ子育てのタイプがあります。この複雑な一大事業のヒントになれば、数秘術を使い、おおまかに9つに分けて提示する本書。数秘術とは、その人の基本となる人生、表面意識、内面意識などを、数字から読み解くテクニックです。生年月日と名前から自分の数字を導き出し、自身の特性やキャラクターを知ったうえで、人生の指針とするのです。数字によって導き出された自分やお子さんの特性が意外と合致しているのに気が付きます。子育てに悩む親はもちろん、自分をよく知りたい方にもお薦めの一冊。



九人九色の子育て —大人にも役立つ
廣瀬芳江 / 廣瀬加奈・共著
★ 摑籃社・発行 定価800円+税
★ B6判、64ページ
※本書をお求めの際は、お近くの書店でご注文ください。
だくか、当誌編集部までお問い合わせください。

関谷真一さんは建築家。関谷真一さんはまちづくりのスペシャリスト。関谷真一さんはまちかどの風景画家。関谷真一さんは大学の講師。関谷真一さんはNPO法人の理事長。関谷真一さんは武藏野うどんの伝道師。これほど多彩な顔を持つ建築家も珍しいのではないでしょうか。八王子の各地区に足跡を残した関谷さんは2022年に若くして逝去。本書はその作品群を選りすぐってまとめた1冊です。どの分野でも卓越した手腕を発揮した関谷さん。八王子のまちを愛した建築家のつぶやきが、さわやかな風とともに吹き抜ける清廉とした作品集です。



建築家関谷真一 —まちかどと建築の風景—

★ B5 横判、88ページ
★ 私家版 非売品
伊藤加津子・編
※本書は私家版です。お求めの際は、当誌編集部までお問い合わせください。

第63号（涼風号）は
5月1日発行予定



次号 予告

「八王子の山」（仮）

市民誰もが知っている高尾山をはじめ、八王子の西端には多くの山々が連なっています。市内ではそんな山の魅力を発掘するべく、八十八名山が選定されているとか。どんな山があるのか、それぞれの特徴、登山ガイドなど、次回の「はちとび」は山にまつわる話題をふんだんにご提供します。情報募集中！

広告募集中！

「はちとび62号」は9,000部を発行、右記の場所にて配布いたします。八王子市民にアピールしたい商品やサービスの広告にピッタリ。是非、協賛ください。

提携店募集中！

お客様とのコミュニケーションツールにしたり、待ち時間の合間に雑誌感覚で読んでもらったりと、利用方法はさまざま。「はちとび」を新サービスとしてご活用ください。

お問い合わせはこちら

揃籠社（清水工房内）
はちとび編集部

TEL (620) 2615
FAX (620) 2616
E-mail info@simizukobo.com

「はちとび」の置いてあるところ

公共施設	お店・企業・学校	JA八王子ふれあい市場	株富士屋
八王子観光コンベンション協会	アート八王子	シミズパーク24	ふもとや
八王子商工会議所	アクサ生命	ジョイステージ八王子	Coffee Bricks
八王子市郷土資料館	㈲赤坂商店	信松院	ベネック
八王子市中央図書館	御菴子司 旭苑	スカイセブンモバイル	法政大学
八王子市川口図書館	網代園	スマイルこどもクリニック	まちなか休憩所 八王子宿
八王子市南大沢図書館	吾妻寿し	せいがの森保育園	まちの駅 八王子CHITOSEYA
八王子市生涯学習センター図書館	アメニティーライフ八王子	セブンイレブン八王子北口店	松姫本店
八王子市絹の道資料館	㈲荒物加島屋	創価大学	㈲峰尾豆腐店
八王子市役所産業振興部	追分町郵便局	高尾の森わくわくビレッジ	みやま大樹の苑
八王子市役所スポーツ振興課	小俣ダンススタジオ	そば・うどん 玉川亭	もぐもぐランド
道の駅「八王子滝山」	café de la poste	たましん散歩店	山梨中央銀行八王子支店
サイエンスドーム八王子	ギャラリー・スペースことのは	多摩美術大学	梯山六
八王子クリエイトホール	京晴㈱	帝京大学博物館	有隣堂 CELEO 八王子店
八王子市学園都市センター	くまざわ書店	東京工業高等専門学校	吉田観賞魚店
八王子市子ども家庭支援センター	くまざわ書店西八王子店	東京純心大学	竜泉寺の湯
八王子市芸術文化会館いちょうホール	株クラブS 保険サービス	東京造形大学	等
八王子市教育センター	グループホームびおら	東京都立大学	その他団体など
八王子市南大沢事務所	桑の実幼稚園	どみえ	サイバーシルクロード八王子
八王子市南大沢文化会館	敬愛保育園	中野屋商店	八王子法人会
大学セミナーハウス	啓文堂高尾店	株日住	八王子市医師会
長池公園自然館	Gozovation	ハーモニーネット	八王子市職員等事業本部
高尾599ミュージアム	小谷野紙店	はちねこ！カフェ	八王子自治研究センター
タタキやけやけふれあいの里	㈲埼玉屋本店	八王子エルシィ	八王子センター元気
市内各市民センター	和食 坂福	八王子学園八王子高等学校	八王子いちょう祭り祭典委員会
	坂本クリニック・坂本医院	八王子中央自動車学校	墨のアトリエ墨童舎
		八王子消化器病院	はちとびサポートの会

はちとぴ <1月～4月>
イベントカレンダー

1月							2月							3月							4月										
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土				
25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21				
18	19	20	21	22	23	24	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11				
11	12	13	14	15	16	17	15	16	17	18	19	20	21	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18	19	20		
4	5	6	7	8	9	10	8	9	10	11	12	13	14	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4

情報募集中

1
9
（金）

1
11
（日）

第39回香風会展 第42回学生書初展
故菅沼香風氏の門下生、同好者によって組織された香風会が開く年に1度の書道展。菅沼香風氏の遺作も展示します。学生書初展も同時開催。のびのびした書の風を感じに、ぜひご来場ください。

会場：八王子市学園都市センター（ギャラリーホール）
時間：10:00～18:00（初日は13:00～、最終日は15:00まで）
入場無料

問 香風会
☎ 090（7008）5580（菅沼）

2
7
（土）

川口から見える山の名前と由来を知ろう
川口地域について学ぶ講座。川口やまゆり住民協議会自然環境部長の米沢純爾さんが、川口から見える山の名前について語ります。定員60名。電話またはメールにて先着順で受け付け。

会場：生涯学習センター川口分館（視聴覚室）
時間：17:00～18:30
料金：200円

問 生涯学習センター川口分館
☎ (654) 8450

2
14
（土）

2
15
（日）

八王子シアタープロジェクト第16回公演
「螢の河」
80年前の夏、この八王子も大空襲に見舞われた。史実をもとに創作したオリジナルの演劇公演です。作・演出は加藤弘一。リニューアルしたいちょうホールでお待ちしています（開場は開演の30分前）。

会場：いちょうホール（小ホール）
開演：17:00（2/14）、11:30・15:30（2/15）
料金：1500円（中学生以下無料）

問 八王子シアタープロジェクト
☎ 080（2831）7650（丘）

3
5
（木）

第29回 八王子画廊散歩

市内7画廊の協力を得て、八王子市及び近隣の美術愛好家の作品を公募し、応募された作品を展示。会期中は、八王子市夢美術館と共に、夢美術館の鑑賞券をプレゼントするスタンプラリーを開催。

会場：市内7画廊
時間：11:00～17:00（初日は13:00～、最終日は16:00まで）
参加費無料

問 八王子画廊散歩実行委員会
☎ 090（6489）2576（白岩）

3
8
（日）

八王子ユースオーケストラ
withバレエシャンブルウエスト特別公演
小学生～25歳以下の若者による八王子ユースオーケストラが市内バレエ団シャンブルウエスト、川口ゆり子バレエスクールと共に演じる特別公演。指揮井田勝大。若さみなぎる公演をお楽しみください。3歳以下入場不可。

会場：いちょうホール（大ホール）
開場：13:30 開演：14:00
料金：1000円（25歳以下500円、全席指定）

問 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団
☎ (621) 3005

3
29
（日）

伝統芸能体験・発表講座発表会

八王子車人形・篠笛・説経節を体験してきた受講生の皆さんによる合同発表会。3月20日（金・祝）に「八王子車人形と説経節 初心者のための解説講座」あり（詳細は下記お問い合わせまで）。

会場：いちょうホール（小ホール）
開場：13:30
入場無料
問 (公財)八王子市学園都市文化ふれあい財団
☎ (621) 3005

3
29
（日）

朗読劇 松姫伝説

武田信玄公息女であり、信松院開基松姫が八王子に辿り着くまでを描いた前野博著『松姫夕映えの記』（搖籃社）を吉田栄作、秋本奈緒美の朗読劇で送る。チケットはe-plusにて販売中。

会場：信松院本堂
開場：1回目 13:00 2回目 15:30
料金：4950円
問 八王子FM
✉ shimoda@hachioji-fm.com

4
18
（土）

第四回 八王子をどり
桑都に舞う艶姿

八王子芸妓衆、長唄社中、清元社中、囃子社中により、八王子の花街で受け継がれてきた伝統芸能を広く披露する日本舞踊公演。演目は「女車引」「藤娘」「娘道成寺」など。ぜひ歴史薫る華麗な世界をお楽しみください。

会場：いちょうホール（大ホール）
開場：13:00・17:00（4/18）、13:00（4/19）
料金：8000円（全席指定、未就学児入場不可）
問 八王子三業組合（見番）
☎ (622) 5191